

# 「内山の街づくりを考える会総会」並びに 「内山の市街地整備等検討準備会発会式」の状況報告

平成24年5月14日 杉浦宇（両会の顧問）

## 【日時・場所等】

・平成24年5月13日（日）の午後1時30分より4時45分まで、中央林間コミュニティセンターにおいて「内山の街づくりを考える会総会」と「内山の市街地整備等検討準備会発会式」が同時開催されました。

内山の街づくりを考える会では、市街化区域を含む内山地区全体を対象に身近な街の問題改善及び市街地整備等検討準備会の支援、広報活動を中心に活動を企画しています。「検討準備会」では市街化調整区域約43haを市街化区域に編入していくため街づくりの方針、実現化方策を今年度末までに検討し、約700名の地権者合意形成を図り、次年度以降の編入に必要な街づくりの事業計画等に円滑に移行していくことを目標としています。



多数の来賓・地権者・住民の皆さんが参加されました

## 【総会・発会式の参加者】

・約100名

## 【来賓出席者】

・大和市井上副市長、甘利国会議員、藤代県会議員、安藤元県会議員、大谷市議会議員、河崎市議会議員、井上市議会議員、佐藤市議会議員、海老澤大和市街づくり計画部長

## 【海老澤大和市街づくり計画部長の挨拶】

◇前々市長の井上市長が街づくりを航海に例えて、よくお話をされた。「検討準備会」がスタートし、今、港から船出をしようとする段階である。市は皆さんの船と一緒に乗るか、あるいは、別船で目指す目標地に向けて一緒に船出をしようと思っている。目標地をどこにするのか、荒波の航路を航海するのか、あるいは時間がかかってもゆっくり進めていくのか、市街地整備の目標と目標に向けてどの航路を進むのか舵取りをしていただきたい。市としては出来る限りの支援をしていきたい。

内山の街づくりの課題としては「狭隘道路の改善」「みどりの計画的保全」「未利用地の有効活用」などが挙げられるが、これら課題に対する整備方針と整備手法を検討し、この内容を取りまとめ地権者との基本合意を図っていくことが「検討準備会」の目的ではないか。

（裏面に参加者からの質問と回答）

## 【参加者からの質問と回答】

※回答は大和市街づくり推進課及び当会

◇市街化調整区域は建物の新築を抑制する区域であるとの説明であったが、実際には建物の新築が行なわれている。これは何故か？

⇒建物の建替のための新築、昭和45年の第一回線引き以前に宅地であった土地については市街化調整区域であっても既得権から建物の新築が認められています。(既存宅地制度)

◇次回の都市計画の見直し時点で市街化区域編入が出来ない場合には特定保留区域の指定はどうなってしまうのか？

⇒都市計画の見直しはおおむね5年毎に実施されています。平成21年の見直しから5年という平成26年となりますが、次回線引きの見直し方針を県が定め、平成25年頃に見直し時期について県から市町村に伝達があるのではないかと思います。

その時点で見直しの時期や特定保留区域の存続等について皆様に具体的にお話できると考えています。

◇「検討準備会」では都市計画決定されている南北の都市計画道路を前提として検討するのか、或いは白紙の状態として検討していくのか？

⇒南北の都市計画道路、南大和相模原線は、現在、相模原市側は用地買収が行なわれており、既に計画決定されている路線であることから、線形、幅員についてはこれを前提に検討していきたい。

◇市街化区域に編入した場合、下水道の整備は出来るのか、又整備の時期はいつ頃になるのか。

⇒市街化区域に編入された場合には公共下水道として整備していくことになる。編入後、段階的に整備していくことになるため、下水道が完備される迄には相当時間がかかると思います。

◇道路に陥没箇所があり、自転車運転中、転倒しそうになった。改善できないか？

⇒会議終了後、直ちに現場確認し、市役所内部で改善策を講じていきたい。

◇宅地内の赤土が盛土されている箇所があり、宅地の擁壁がないため、降雨時に赤土が道路路面に流出し歩行の障害となっている、改善できないか？

⇒「考える会」としても問題を指摘している箇所である。市役所と協議し改善策を考えていきたい。

◇会費は会員（賛同者約380名）から徴収するのか。或いは理事、顧問・運営委員から徴収するのか？

⇒理事、顧問・運営委員からのみ徴収。なお、勉強会、説明会などは全会員に呼びかけを行なう。

◇会の収支で赤字になりそうな場合、会費1000円以外にも徴収することが出来る旨、規約に記載されているが、徴収の限度額を設けるべきではないか？

⇒不足額にもよるが、理事、顧問・運営委員の中から寄付金で穴埋めしていきたいと考えている。

**-市街地整備等検討準備会速報- No.1** ※議事については「議案書」をご覧ください

(内山街づくり通信<臨時号>2012.6.1)